核軍拡と核軍縮の教材化

１　単元　中学校３年社会（歴史）

核軍拡と核軍縮

・核実験（ビキニ）

・原水爆禁止運動

２　主題設定の理由

　　　　ヒロシマ・ナガサキへの原爆投下後の冷戦構造から核軍拡になった経緯を知るとともに、核実験による被害について知り、原水爆禁止運動が続いていることを理解する。

３　指導計画（４時間あつかい）

　　　第１次　冷戦構造から核軍拡・・・２時間

　　　　　　　　・ヒロシマ・ナガサキへの原爆投下とその背景

　　　　　　　　・核実験（ビキニ）

　　　第２次　原水爆禁止運動・・・・・・・２時間

　　　　　　　　・原水爆禁止運動の高まり

　　　　　　　　・今も続く原水爆禁止運動

（１）第１次、冷戦構造から核軍拡２時間計画の２時間目、「核実験（ビキニ）」のねらい

　　　核軍拡になり、ビキニ核実験で第五福竜丸など日本の漁船やマーシャル諸島の人々が被曝したことを理解する。

（２）学習展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習内容 | 指導上の留意点 | 資料 |
| １．前時の復習をする。（核軍拡の状況）ヒロシマ・ナガサキへの原爆投下後、世界中でヒバクシャがつくられなかったのだろうか。２．アメリカの核実験と被曝者を知る。・世界遺産ビキニ・ビキニ核実験（ブラボー実験・1954．3．1）・第五福竜丸の被曝・久保山愛吉さんの死・多くの日本の漁船の被曝・マーシャル諸島の人々の被曝 ４．世界の核実験を知る。 | ・ヒロシマ・ナガサキへの原爆投下とその後の核軍拡の状況（核弾頭・運搬手段の発達：原子力潜水艦、大陸間弾道弾、中距離弾道弾、Ｂ２９）について復習をする。・世界遺産ビキニの写真を見せ、なぜ世界遺産になったかを知らせる。・アメリカの核実験を知り、核軍拡が始まったことを理解する。・第五福竜丸が被曝したことを理解させる。・久保山愛吉さんが亡くなったことを伝える。・多くの日本漁船が被曝したことを理解させる。・マーシャル諸島の人々も被曝したことを理解させる。ロンゲラップ島（実験場所から１８０ｋｍ、２日後に帰島、８６人被曝）ウトリック島（実験場所から４５０ｋｍ、３日後に帰島、４５０人被曝）アイリングナエ島１８人被曝）・世界も核軍拡に向かったことを理解する。 | ・原爆はなぜ投下されたか１問１答（広島平和教育研究所）・世界遺産（ビキニ）・アメリカの核実験・写真でたどる「第五福竜丸」（第５福竜丸平和協会）・第五福竜丸から「３．１１」後へ（岩波書店）・灰滅の海から（高知新聞社ＨＰ）・マーシャル諸島の子どもたち（福音館書店）・世界のヒバクシャ（講談社）・核軍拡（岩波書店） |

＜資料＞　主な核実験

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | １．アメリカの核実験（月：場所：特質） | ２．世界の核実験（主なもの） | 核実験・核ミサイルの制限 |
| 1945  | トリニティ作戦（ガジェット７月：ニューメキシコ：初の原爆）リトルボーイ（ヒロシマ：８月６日：ウラン型）ファットマン（ナガサキ：８月９日プルトニウム型） |  |  |
| 1946 | クロスロード作戦２回（７月：ビキニ環礁：戦艦長門等を標的） |  |  |
| 1948 | サンドストーン作戦３回（４～５月、52年11月：エニウェトク環礁：住民移住） |  |  |
| 1949 |  | ソ連（初の原爆） |  |
| 1951 | レンジャー作戦５回（１～２月、ネバダ：全てB50から投下）グリーンハウス作戦４回（４～５月、マーシャル諸島：水爆開発の実験のため：鉄塔上）バスター・ジャングル作戦７回（10～11月：ネバダ：大気中１回、地下１回） |  |  |
| 1952 | タンブラー・スナッパー作戦（タンブラー３回：４月、ネバダ・スナッパー作戦５回５～６月、ネバダ：核爆発直後の地域に於ける兵士の作戦行動可能性を検証）アイビー作戦２回（11月、マーシャル諸島：エルゲラブ島消滅） | イギリス（初の原爆） |  |
| 1953 | アップショット・ノットホール作戦１１回（３～６月、ネバダ：兵士21000参加：初の核砲弾） |  |  |
| 1953 |  | ソ連（初の水爆：後に強化原爆） |  |
| 1954 | キャッスル作戦６回（３月～５月、ビキニ環礁等：３月１日ブラボー：水爆・第五福竜丸） |  |  |
| 1955 | ティーポット作戦１４回（２月～５月、ネバダ：陸軍、海兵隊等）ウィグワム作戦１回（５月、カリフォルニア沖：核爆雷） | ソ連（初の水爆） |  |
| 1957 |  | イギリス（水爆） |  |
| 1960 |  | フランス（初の原爆） |  |
| 1961 |  | ソ連（世界最大の核実験） |  |
| 1963 |  |  | 部分的核実験禁止条約※１ |
| 1964 |  | 中国（初の原爆） |  |
| 1967 |  | 中国（初の水爆） |  |
| 1968 |  | フランス（初の水爆） |  |
| 1970 |  |  | 核拡散防止条約(NPT)※２ |
| 1974 |  | インド（初の核分裂爆発実験） |  |
| 1991 |  |  | 第一次戦略兵器削減条約(START I)※３ |
| 1993 |  |  | 第二次戦略兵器削減条約(START Ⅱ)※４ |
| 1996 |  |  | 包括的核実験禁止条約(CTBT)※５ |
| 1998 |  | インド（潜在核融合増幅兵器実験）インド（初の原爆）パキスタン（初の原爆） |  |
| 2002 |  |  | モスクワ条約※６ |
| 2006 |  | 朝鮮民主主義人民共和国（初の原爆） |  |
| 2011 |  |  | 第四次戦略兵器削減条約（新START）※７ |

※１　部分的核実験禁止条約1963年（アメリカ・イギリス・ソ連）

大気圏内、宇宙空間及び水中における核兵器実験を禁止する条約

※２　核拡散防止条約（**NPT）**　1963年国連採択。関連諸国による交渉、議論を経て1968年に最初の62か国による調印が行われ、1970年に発効

核軍縮を目的に、アメリカ、ソ連、イギリス、フランス、中華人民共和国の5か国以外の核兵器の保有を禁止する条約

※３　第一次戦略兵器削減条約(START I)　 1991年（アメリカ・ソ連）

戦略核弾頭数、大陸間弾道ミサイル (ICBM)、潜水艦発射弾道ミサイル(SLBM) や爆撃機などの削減

史上初めて戦略兵器を削減する条約で、発効後7年間でそれぞれの戦略核弾頭を6,000個に削減するというもの

※４　第二次戦略兵器削減条約(START Ⅱ)1993年（アメリカ・ロシア）

両国の核弾頭数の削減、実行されず。

双方の戦略核弾頭を2003年までに1/3（3,000～3,500発）に削減する

地上発射の多弾頭大陸間弾道ミサイルの配備を禁止

※５　包括的核実験禁止条約　1996年国連採択　未発効

宇宙空間、大気圏内、水中、地下を含むあらゆる空間での核兵器の核実験による爆発、その他の核爆発を禁止する条約

※６　モスクワ条約2002年（アメリカ・ロシア）

両国の戦略核弾頭の削減

※７　第四次戦略兵器削減条約（新START）2011年（アメリカ・ロシア）

両国の戦略核弾頭、運搬手段の制限

（３）第２次、原水爆禁止運動２時間計画の１時間目、「原水爆禁止運動の高まり」のねらい

　　　第五福竜丸事件から原水爆禁止運動が始まったことを理解する。

（４）学習展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習内容 | 指導上の留意点 | 資料 |
| １．前時の復習をする。 | ・冷戦構造の中、核実験をして、第五福竜丸が被爆し、久保山愛吉さんが亡くなったことを思い出す。 | ・第五福竜丸、久保山愛吉さんの写真 |
| 　原水爆禁止運動が日本や世界で広まったのはなぜだろう。２．欧米の反核運動が高まったことを理解する。３．日本での原水爆禁止運動の高まりを理解する。・久保山愛吉さんの死・核の威力・放射線被害・たくさんの漁船の被曝・多くの魚の汚染・マグロの風評被害・杉並区の署名運動・広島での署名運動・原水爆禁止世界大会 | ・1950年ストックホルムアピールで、反核運動が高まってきた。・久保山愛吉さんの死と放射能の関係を理解させる。・アメリカは久保山さんの死と被曝の影響を認めようとしなかった。・核の威力（爆風、熱線、放射線）について簡単に理解させる。・たくさんの漁船が被曝したことを思い出させ、多くの魚が汚染されていたことを理解させる。・原爆マグロの風評被害があったことを理解させる。・1955年、原水爆禁止運動が始まったことを理解させる。 | ・平和教育実践事典（広島平和教育研究所）・毎日新聞2005年7月23日「第五福竜丸：『発症原因は放射能ではない』米公文書で判明」・核の威力・高知新聞社2004年夏、「灰滅の海から」と題した連載記事・ＨＰ・杉並区のＨＰ・広島県原水禁のＨＰ・原水爆禁止大会の写真・「ゴジラ」（映画）・「明日の神話」（岡本太郎） |

＜資料＞核実験回数（広島平和記念資料館Wｅｂｓｉｔｅ：平和への歩み：「核兵器開発・核軍縮の歩み」）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 国名 | 合計 | 大気中核実験 | 地下核実験 | 臨界前核実験 | 新型核実験 |
| アメリカ | １０６０ | ２１５ | ８１５ | ２６ | ４ |
| 旧ソ連・ロシア | ７８３以上 | ２１９ | ４９６ | ２３以上 |  |
| イギリス | ４７ | ２１ | ２４ | ２ |  |
| フランス | ２１０ | ５０ | １６０ |  |  |
| 中国 | ４５ | ２３ | ２２ |  |  |
| インド | ３ |  | ３ |  |  |
| パキスタン | ２ |  | ２ |  |  |
| 朝鮮民主主義人民共和国 | ２ |  | ２ |  |  |

